

令和7年度（第1回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和7年8月12日（火）

11:00～12:00

場 所：市庁舎5階 特別会議室B

1 事業内容説明・内部評価結果について

【事前評価2】北九州市立大学新学部開設事業

～事業課から資料1・資料3に基づき説明～

2 質疑応答について

○構成員

図面を見てまず思ったのが、敷地にあまり余裕がないなということです。都心部に建てることのデメリットかなというふうに思ったのですが、駐輪場や駐車スペースが図面上見あたらなかったのも、そういったものはどのあたりに計画をされているのでしょうか。

もう1点、今後この建物を80年維持していく中で、維持管理の面で外壁の改修ですとか、屋上の防水の改修や、サーバー室などもあると思うので、大型機器やキュービクルなどの機器更新について、仮設や大型の重機の設置スペース、また、工事の工法も限られてくると思うので、そのあたりをどういうふうに考えているのかをお尋ねします。

●政策局総務課大学整備担当課長

駐車場と駐輪場について、まず駐車場については隣のA地区の立体換地建築物の3階・4階が駐車場になりますが、そこをご利用いただく形になります。

○構成員

その駐車場は今回の建物と繋がっていますか。

●政策局総務課大学整備担当課長

繋がってはいないので、一度降りていただいて1階で繋ぐという形になります。3階・4階で繋ぐことも検討しましたが、大学のセキュリティ上の問題があるとの結論に至り、入口を1階の3か所に限定し、学生証などでセキュリティを開けて動かすことを考えております。

次に、駐輪場については、ご指摘のとおり敷地がいっぱいの状態で、我々の中でも問題意識を持っているものの、駐輪場を置くスペースが確保できていないというのが現状です。且過周辺で言いますと、有料駐輪場が駅や道路上に何ヶ所かありますので、まずはそういったところをご案内することになると思います。

2点目の、外壁やサーバー・キュービクルなどの大型機器の更新については、サーバー室については搬入用の大型エレベーターを入れており、サーバーも一体的というよりも少し小分けにした形のようなものを考えていますので、入れ替えをしながら対応していくことになると思います。

キュービクルは屋上に置きますので、更新の際は大型クレーンが必要になりますが、周りの建物がかなり接近していることと、モノレール駅側はペDESTリアンデッキがあることから、建物の北側にしか大型クレーンを置けるスペースがありません。更新の際は交通規制や歩行者の安全確保が必要になりますが、期間としてはそれほど長くないと考えております。

外壁の塗装などについて、建物の西側は河川管理道があるので足場を若干組むスペースはありますが、立体換地建築物側については将来のメンテナンスの難易度がかなり高くなりますので、建物のひさし部分に足場を組めるように検討しております。

○構成員

建物の西側に設置するルーバーは取り外しができるような感じになりますか。

ルーバーは空調上の効果はあると思いますが、メンテナンスがやりづらいのではないかと思います。

●政策局総務課大学整備担当課長

西日をかなり気にしており、夕方の授業を受けているときに眩しくてはいけないということで常設のルーバーを設置します。

基本設計の段階では熱効率を考えたときにルーバーがあったほうが良いというところですが、今のご意見も踏まえ、今後の実施設計の中ではメンテのことも含めながら考えたいと思います。

○座長

クレーンは河川管理道では使えないのですか。

●政策局総務課大学整備担当課長

道幅で収まれば使えないことはないと思いますが、河川管理道に入るところにペDESTリアンデッキがあり、高さの制限がどうしても出てくるため、その下をくぐれるかどうかは問題です。大型クレーンを置くとなると、建物の北側が安全面からも一番いいのではないかと考えております。

○構成員

高度デジタル人材のニーズが高まっているということですが、IT企業はどういった会社なぜ小倉に進出しているのか、企業が求めているニーズと北九州市立大学の新学部をどうマッチさせるのか、というところを教えてくださいたいと思います。

それともう1点、各地で情報系の学部が新設されているイメージがありますが、

今回の事業は市内就職率を上げていくことが目的の一つだということですので、地元の企業への就職にちゃんと繋がるのか、どうやって繋げていくのか、北九州市立大学の強み・オリジナリティをどう出していくのかについても教えていただきたいと思います。

●政策局総務課大学整備担当課長

まず1点目について、日本・アイ・ビー・エムデジタルサービスやNTT西日本、ゼンリンなど大学はすでに11件14社のIT企業と連携協定を結んでおります。

企業が求めているニーズや北九州市立大学の新学部がどうマッチさせるのかというところについては産業経済局の所管となりますが、企業は人材確保が大変であることから、資料1の22ページのような小倉周辺において大学や専門学校による情報系人材を育てる新たな動きに魅力を感じているというふう聞いております。

大学としては、どういうことが課題でどういうプロセスで解決していくのかということ、学生の頃から企業の方々と話をしながら肌身をもって学んでいくことがとても重要だと考えているようです。

○構成員

もう一点よろしいですか。今回の事業は、市場の上に大学のキャンパスを載せるという斬新な事業だと思いますが、大学キャンパスと市場が一体となつてにぎわい創出などができるとなるとお良いのではないかと思います。今回は市が直接建てる選択をされたとの理解ですが、うまくにぎわいを創出していく上では、民間のノウハウを活用するために、例えば民間が市場と大学キャンパスを一体開発するとか、PFIで一体整備するなどの選択肢もあったかと思っております。そういった中で、今回市が自ら建てる判断された理由はこういったところにあるのでしょうか。

●政策局総務課大学整備担当課長

且過市場再整備のもともとのスタートは河川の安全確保がベースですが、それをベースにして且過が再生していく中でどんな手法をとっていくかいろいろと議論があった中で、例えば住宅などを載せていくという議論もあったように聞いています。

ただ、地元の方々は店舗を営業できない期間を極力短くしたいと伺っておりまして、工事が長引けば固定客が離れていくことをかなり不安に思われていたため、できるだけシンプルな形・最小限な形で市場を再生していくことをご希望されたというふう聞いております。

大学に関しては途中から入ってきた形にはなりますが、事業手法を検討する中で、PFIなど設計・工事・維持管理を含めて一体的に発注する仕様が固まっている場合はその仕様でやれると思っておりますが、今回は市場との共同事業として実施する中で、市場の中での意思決定も並行して進めています。また、工事現場が狭いエリアになりますので、工事をうまくやれるようECI方式を使いながらやっていくというところで条件を絞ってきたのが現状です。

○構成員

且過市場は昔ながらの貴重な雰囲気があり、市民生活や観光の観点でも重要な市の財産だと思いますので、個人的な感想にはなりますが、あぁいった雰囲気を残せるように事業を進めていただきたいと思います。

●政策局総務課大学整備担当課長

安全性を確保しつつ、そういう雰囲気を残すというのはおそらく皆さんが望まれていることだと思いますので、大学も含めてできるだけ配慮しながらやっていきたいと考えております。

○座長

用地費という項目がありましたけど、土地の所有はどういう形になるのでしょうか。建物は道路にもかぶっているようですが。

●政策局総務課大学整備担当課長

立体道路制度を活用する道路部分についてはあくまでも市道となります。建物が建つ1階部分の土地を大学と市場で共有するという形になります。持ち分の割合としては床面積に相当する9対1くらいとなり、最終的にはマンションと同じような形で床は区分所有、土地は共有持ち分という形になります。

○座長

大学の自主財源7.5億円ですが、これは大学にとっても結構大きな金額ですけれども、大学としてはどういうふうにお考えなのでしょうか。

●政策局総務課大学整備担当課長

一般的に公立大学法人は独立採算で運営しているわけではなくて、学生の入学金や授業料だけでは当然足りませんので、設立団体から運営交付金をいただいて運営しています。例えば施設整備費や用地購入費など一般の運営とは別の部分についても、全国的に公立大学や国立大学を見ると、基本的には設置している国や自治体が負担するというのが大原則です。今回、北方とひびきのという2キャンパスがある中、さらに3つ目のキャンパスをつくるということで、大学はかなり強い思いを持って都市部に出てくるため、極力市に負担をかけないような形でできるだけ集めるというところで自主財源7.5億円を掲げています。その内訳として、卒業生や同窓会から寄付を1億円、企業から6.5億円の寄付を募ると聞いております。特に市外企業については企業版ふるさと納税という制度がありますので、そういう部分では市も協力をしながら、大学をサポートしていきたいと考えております。

○座長

景気の度合いなども含めて、企業献金の見込みはどうなののでしょうか。

●政策局総務課大学整備担当課長

企業からは多額の寄付金を集めたという実績がないため、どこまでいけるかというところはありません。ただ、市外企業向けの企業版ふるさと納税という制度は、企業にとってもかなり有利な制度になりますので、機会をとらえて学長から企業に話をさせていただいているようです。金額まではまだ確定はしておりませんが、多くの企業から良い反応をいただいていると聞いております。

○座長

市内就職率について、IBMのような大きな会社は転勤や異動をたくさんすると思うので、あまり市内就職率にこだわると逆に足かせになるような気もしますが、大学も市も市内就職率を一応の目標値とするということでしょうか。

●政策局総務課大学整備担当課長

大学と市の関係でいくと、市が設立団体でありますので、市が議会の議決を経て中期目標を大学に示します。それを元にして大学は中期計画を作って、市が目指すところと大学が目指すところの整合性を取っており、地元就職率の向上については実は中期目標でも中期計画の中でも掲げています。市内に還元していく・市内企業のニーズに応じていくという点で、市立大学としての一定の役割・責任があるということで、25%というかなり高い数字を掲げています。

○座長

起業、業を起こす方のアントレプレナーシップというところも頑張らないといけないと思います。

●政策局総務課大学整備担当課長

新学部を運営する柱の中にアントレプレナーシップを学ばせるというところもあります。数値として実績がなかったものですから、目標値として定めるのはなかなか難しいと大学から聞いております。

○座長

それでは今日ご欠席の構成員の方からご意見いただいているようなので、そちらの紹介をお願いします。

●事務局

本日やむを得ずご欠席の構成員につきまして事前にご説明をさせていただき、いくつかがご意見いただきましたので、ご紹介させていただきます。

まず、今回新学部の開設に伴う新校舎の新設ということで、大学全体としての延べ床面積が純増になることから、既存の施設で老朽化している部分とかについては学生の安全を考慮して除却を検討すべきではないか、という意見です。

それから、学生の回遊性についてですが、今回モノレール且過駅に隣接するところに校舎を作るということで、駅近のデメリットとしては学生が回遊せずにすぐに

帰ってしまうというところがあり、学生を回遊させる仕掛けが必要ではないか、という意見です。

それから、近年の資材単価等の高騰により事業費を増額になりがちということでその点は大丈夫かという意見もありました。

最後に、周辺は買い物客を含めて大勢の人が行き来するということになるので、不審者がキャンパス内に侵入することがないように、セキュリティ対策をしっかりと行っていたきたい、という意見もありました。

○座長

事業費の増額については今からも十分ありうることなので、どうするか考えておかないといけないと思いますがいかがでしょうか。

●政策局総務課大学整備担当課長

昨年基本設計を実施しまして、昨今の状況を見ても今から労務単価や資材単価が下がるということは考えにくいです。実施設計の中でどこまで事業費を圧縮できるか、工事期間が延びている分で人件費がかかっている部分もありますので、ECI方式で施工業者も一緒に入りながら、できるだけ工事を短縮できるように工夫し、コスト縮減について考えてまいります。

////////////////////////////////////

○座長

それでは、いろいろとご質問等いただきましたけど、意見としては「こうあるべき」というものはなかったかと思います。基本的にはこの事業を計画通り進めていくことに対して、ご異論等ございませんでしょうか。

(意義なし)

それでは、この事業につきましては計画通り進めていくことを前提とした上で、検討会議としての意見を整理したいと思います。

1点目は、且過市場はせつかくのすばらしい財産ですから、その雰囲気を守られるように、あるいはより良くなるように、まちづくりの中でそのよう位置付けを積極的に行いながらこの事業を進めていただきたいと思います。

2点目は、大学の自主財源についてですが、寄付金の目標額はハードルがかなり高めということですので、企業版ふるさと納税を含めて市も一緒になって大学の自主財源の確保に努めていただきたいと思います。

3点目は、事業費についてですが、今も資材価格などは上昇していることから事業費の増額の可能性が非常に高く、その対応や対策を念頭に置いて事業を進めていただきたいと思います。

4点目は、建物が完成したあとの維持管理についてですが、敷地が狭いということもあるので、大学側だけでなく市場側の維持管理についても大学が影響を受けるということもあるかもしれませんので、管理協定も含めてということになるとは思いますが、維持管理は市場とも調整のうえ工夫をしていただきたいと思います。

5点目は、駐輪場についてですが、敷地内の駐輪を厳しく制限すると敷地外に溢れることになるので、市も違法駐輪に関する条例を持たれていると思いますが、大学とも相談のうえ対応を検討していただきたいと思います。

以上5点を公共事業評価に関する検討会議の意見とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは、意見の具体的な記載内容につきましては座長である私がお預かりをして、事務局と調整をさせていただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

以上